

2019年度 学力試験問題

国 語

「指定校特待生推薦入試(A日程)」

「自己推薦特待生入試(A日程)」

2018年10月17日(水)実施

志望学部・学科		受験番号	フリガナ	
学部	学科	番	氏名	

芦屋大学

国語問題

解答はすべて丁寧にわかりやすく書くこと。判読しづらい文字や数字があった場合はすべて不正解とする。

【問題一】 次の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入すること。
(配点40点)

問一 次のカタカナの部分のセツジヨクを果たす。答は楷書で解答欄に記すこと。

1. 前回の大会でのセツジヨクを果たす。
2. ソソウのないように気を付ける。
3. カイキ現象に興味をひかれる。
4. コハンに別荘を構える。
5. ようやく寒さがユルんできた。

問二 次の傍線部の漢字の読みを答えなさい。答は平仮名で解答欄に記すこと。

1. 式は巖かに執り行われた。
2. 桜が笑む時を待ちわびる。
3. そんな失敗は日常茶飯事です。
4. 彼はこの会社の礎石といえよう。
5. 理性と感情が相克する。

問三 次の□の中に入る漢字を答えなさい。答は楷書で解答欄に記すこと。

1. 誠心誠□
2. □思黙考
3. 以心□心
4. □れる者はわらをもつかむ
5. □振り合うも他生の縁
6. □迦に説法

問四 次の漢字の画数を答えなさい。

乙

問五 次の俳句の中で季節の異なるものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 船涼し左右に迎ふる対馬壱岐
- ② みじか夜や毛虫の上に露の玉
- ③ 学問のさびしさに堪へ炭をつぐ
- ④ 五月雨や大河を前に家二軒

問六 次の傍線部の文法的な意味はどれか。選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

校長先生が、講話をされる。

- ① 受身
- ② 可能
- ③ 自発
- ④ 尊敬

問七 次の説明文の人物は誰か。選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1909年、青森県生まれ。小説家。17歳の頃に「最後の太閤」を書き、同人誌を発行するなどして作家を志す。東京帝国大学文学部仏文科に入学するも、小説家となるべく井伏鱒二に弟子入りする。1947年発表の長編小説『斜陽』で流行作家となるも、『人間失格』『桜桃』を書き上げた。

- ① 井上靖
- ② 太宰治
- ③ 川端康成
- ④ 芥川龍之介

【問題二】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入する。 (配点36点)

学部生の時なので、三〇数年も前のことだが、経済史が面白くて仕方ない時期があった。関口尚志先生の経済史の授業を取ったことも理由の一つであったが、自己流で大塚久雄(一九〇七生)、内田義彦(一九一三生)、平田清明(一九二二生)、内田芳明(一九二三生)、住谷一彦(一九二五生)などの著作をがむしやりに読んでいたことも影響していたのかもしれない。その後しばらく経って、福島大学の図書館で大塚久雄文庫を偶然見かけた時に、埋み火に火がつきかけたことはあったが、それはやや例外に属することで、経済史への熱はすっかり冷めてしまっていたのである。

ところが、この一〇年の間に、ひよんなことから小野塚知二さんと知り合うことになった。一緒に講義をしたり、わたしの抱えているプロジェクトに無理矢理引きずり込んだりと、大変お世話になっている。そしてこの小野塚さんこそ、東京大学経済学部の経済史の、より強く言えば、大塚久雄の批判的な継承者にほかならない。わたしの消えかかった埋み火が少し炎を取り戻しかけているとすれば、小野塚さんとの対話のおかげである。

その小野塚さんが年初に立て続けに二冊を出版された。そのうち『経済史―いまを知り、未来を生きたために』は、実にかゆいところに手の届く、上質な仕上がりとなっている。学生時代にこの本を読む機会があったらどれほどよかつたかと思う反面、大塚久雄が立てた。『プロブレマティークを咀嚼し、その上で批判的に乗り越えるためには、気の遠くなるほどの学問的熱量が必要であったことが示されており、あらためて経済史という学問に震撼してしまったのである。

では、経済史とは何か。それは人間を考える学問である。そう言われて、何を当たり前なと思うか、まったく的外れだと思うか、どちらだろうか。経済学という近代の学問が社会科学として自らを定義しようとするならば、経済現象を数学的に説明するにしくはない。その際、人間を、経済現象の重要なパラメーターの一つとして、たとえば利潤を最大限に追求する合理的な経済人として理解するのは都合がよい設定である。大塚久雄が描いた人間もまた、しばしばそのような理解され、自立した個人という近代主義の枠組みに大塚ははまっていたとされる。

最近の経済学は、ここまでは 抽象化された人間像を必ずしも維持しているわけではない。耳目に新しいところでは、昨年のノーベル経済学賞のリチャード・セイラー(シカゴ大学)が考える行動経済学は、人間の感情に着目し、必ずしも合理的ではない経済活動を行う人間を分析するものであるし、やはりノーベル経済学賞のジョージ・アカロフのアイデンティティ経済学なども、人間の複雑に構成されたアイデンティティが経済的選好に与える影響を考えようとするものだ。

しかも、経済史には 〈A〉 という側面もある。それは自立した個人という人間観それ自体を歴史化することを必須とすることでもある。そうであれば、経済史は、人間の定義それ自体を歴史化し、それ自体がどのように構成されてきたのかを、経済現象とともに論じなければならぬだろう。

小野塚さんが経済史の方法として二つ挙げているのは、「起源・来歴の方法」と「比較の方法」である。どちらも、実は④きわめて危険なものだ。たとえば、起源・来歴を問うことは、一方で、強固な起源と目的の物語を押し付けられることにもなると同時に、他方で、別の起源に遭遇することでもあり、別の目的を見出してしまふこともあるからだ。同様に、比較するということも、より強固な基礎を見出して安心することに帰着する一方で、逆に基礎の不在を露呈することに繋がる場合もあるのだ。そして、小野塚さんはどちらかというと後者の側面を抉り出すことで、前者の側面を行為遂行的に（ということとは、ある種の決断をかけて）深めようとした大塚久雄を、批判的に継承しようとしているように思われる。どういうことか。

大塚の最初の単著『株式会社発生史論』（一九三八年）を手掛かりに、小野塚さんは大塚久雄が、アソシエーション（協同性、結社）という、自由な諸個人が多く仲間と契約的に遂行する共同事業の主体的条件を究明しようとしていたと考えている。さもなければ、大塚が強調した「民富」（民衆の間に蓄積された富であり、かつ民衆の自由な経済活動を支える人間関係）を理解することはできない。〈B〉、大塚の人間観である自立した雄々しい個人は、独立独行の「経済人」とそれが作り上げる「組織化されない複雑性」としての共同性にのみ帰着するのではなく、「組織化された複雑性」としての共同性であるアソシエーションへの可能性もあつたと、読み直しているのではないか。

別の言い方をすれば、大塚が前提していた「近代人」の起源・来歴を問い、それを「近代人」以外の人間観（たとえば、弱く壊れやすい人間）と比較することで、大塚の限界と可能性を測り直そうというのである。〈A〉アソシエーションとは、そのための手掛かりになる概念である。〈イ〉とはいえ、小野塚さんはアソシエーションに落ちる深い影を見過ごしてはいない。〈ウ〉「第二次世界大戦後の「アソシエーション」の希望をユーゴスラヴィアが大言していた」としながらも、そのユーゴスラヴィアが膨大な不良債権を抱え、債務不履行に陥ると、それをとどめる手段を持たず、「民族という個別的価値を至高とするナショナリズム」に屈して、悲惨な末路を迎えたことを冷静に記述している。〈エ〉

では、どうすればよいのか。小野塚さんの〈C〉は、超人たちの（つまり大塚が理想とする「近代人」たちの）アソシエーションではなく、規模の小さな「凡人たちのアソシエーション」の可能性を構想することである。威勢はよくないように見えるだろうが、しかし、この概念は「小人による渦巻き共同性」を主張しているわたしにはとても重要だと思われる。

問一 問題の文章中には例のような同音異義語あるいは同訓異字の漢字間違いが1箇所ある。その間違いを指摘し正しい漢字に直しなさい。

例1 大臣の職を自認する。 ○誤 自認 ↓ ○正 辞任

例2 有名人を排出する。 ○誤 排出 ↓ ○正 輩出

例3 事務を取る。 ○誤 取る ↓ ○正 執る

問二 次の文章は問題文中の〈ア〉〜〈エ〉のうち、どこに入るか。最も適切な位置を1つ選び、〈ア〉〜〈エ〉の記号で答えなさい。

入る文章 〈歴史においてアソシエーションは永遠の絶望であったのだ。〉

問三 傍線部(一)の意味として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 問題をかみ砕いて理解する
- ② 問題点をさらに細分化する
- ③ ささまざまな問題点を統合する
- ④ 問題の立て方に感服する

問四 傍線部(二)の説明として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 経済史は人間を考える学問などでは断じてなく、経済現象を扱う学問であるというのは専門家には自明の理なので、あえて注意を引こうとして述べた。

- ② 経済学は社会科学であるから、科学的方法論に立脚すると、「人間を考える学問である」という定義自体に対してそれが正しいか否か容易に結論は出さないといい立場で述べた。
- ③ 経済学には、さまざまな目的、内容、来歴、方法がある。したがって経済史の定義自体はそれほど本質的意味をなさず、どちらでもかまわないという立場を述べた。
- ④ 専門家からすれば当たり前だけれども専門外の人からはやや突拍子もないことを言っているように取られる可能性もあるので、念のため述べたものである。

問五 傍線部(三)の説明として最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 必ずしも合理的ではない経済活動を行う人間
- ② 合理的に経済的選好を行う人間
- ③ 複雑に構成されたアイデンティティが中核をなす人間
- ④ 過去のノーベル経済学章受賞者

問六 本文中〈A〉に入る語句として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 経済学
- ② 歴史学
- ③ 人間学
- ④ 社会科学

問七 傍線部(四)の理由として最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 起源・来歴を問うことは、強固な物語を押し付けることになってしまうから
- ② より強固な基礎を見出して安心してしまうから
- ③ 別の起源と目的を見つけたり、基礎の不在を露呈したりするから
- ④ このような方法で大塚久雄を批判すると、小野塚さんが不利な立場に陥るから

問八 本文中〈B〉に入る語句として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① そうだとすると
- ② しかしながら
- ③ もしかしたら
- ④ なぜならば

問九 本文中〈C〉に入る語句として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 明快な提案
- ② 明示されていない提案
- ③ 批判的な提案
- ④ ささやかな提案

【問題三】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入すること。（配点24点）

平昌パラリンピックの熱気に触発され、夏のパラ競技であるボッチャの練習を東京都内で見学した。〈A〉を指すイタリア語にちなむ競技名の通り、〈B〉、赤、青3色の球がコートを飛び交う▼「2年前のリオ大会で日本勢が銀メダルを獲得した。福祉施設や学校で普及に努めてきた私たちには追い風です」。練馬ボッチャクラブ代表稲木（いなぎ）祐二さん（70）は話す▼赤と青のチームが6球ずつ投げて、白のジャックボール（目標球）にいかにも近づいたかを競う。「地上のカーリング」と呼ばれるが、目標球もはじかれて動き、一投ごとに戦略が変わる。障害がある人向けの種目として30年前のソウル大会で導入された▼取材に訪れた日の指導役は東洋大学生の佐藤駿さん（22）。先天性の脳性まひで車いす生活を送る。小3で競技を始め、20年東京大会を目指す。「速球で赤をはじいて」「転がさず遠方へ投げて」。局面ごとに攻め手を教える。勝負どころでは自ら白球の脇にピタリと寄せ、周囲をうならせる▼投げてみると、球は意外と弾まず転がらない。視線を浴びて腕が縮み、勢い余って球が外へ飛び出した。トップ選手に求められるのは、ミリ単位で投げ分ける技術と集中力だろう▼平昌大会も残り3日。パラ競技といたこれまでテレビで観戦するばかりだったが、〈C〉みにやってみると世界は広がる。ボッチャは性別や年齢、障害の〈D〉を問わない。これほど誰にも楽しめ、これほど奥深いスポーツだったとは。〈E〉は一投にしかずである。

問一 本文中の△A▽△E▽に入る最も適切な漢字を答えなさい。ただし、A・B・Cは漢字1字で、D・Eは漢字2字で答えること。

問二 問題の文章は『天声人語』からとったものである。『天声人語』に付いているタイトルはどれか。次の選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① ボッチャに学ぶ
- ② パラ競技の世界
- ③ 平昌オリンピックの熱気
- ④ 地上のカーリング

（平成三〇年三月一六日付朝日新聞、『天声人語』による）